

富士未来学Ⅴ

－研究経過報告書

研究経過報告書でできるようになること

研究経過報告書を作成することで、自分の課題研究の進捗を知り、今後に向けての課題を見いだすことができる。また、2月の探究発表会に向けて、研究計画を見直すことができる。

研究経過報告書で学ぶこと

研究経過報告書で自己の探究活動の振り返りを行い、今後の探究活動の計画を見直し、自己改善することを学ぶ。自分の課題研究の到達度を考えることで、今後どのようなことが必要か、自分自身に問いかけて自己調整することを学ぶ。

月 日 ()

東京都立富士高等学校

東京都立富士高等学校附属中学校



高校2年 組 番 氏名



研究経過報告書

ルーブリックを見返しながら、自己の到達度を確認し、改善を図りましょう。

育成したい資質・能力	グランドデザインとの関係	評価の観点	評価の対象	高度に達成されている	達成されている	一部に課題あり	自己評価	教員による評価
				A	B	C		
挑戦力	自己改善	主体的に学習に取り組む態度	2の記述	2において、富士未来学で身に付ける3つの力の到達度をレーダーチャートにより分析し、①と②についてそれぞれ記述している。	2において、富士未来学で身に付ける3つの力の到達度をレーダーチャートにより分析しているが、①と②の記述に不備がある。	2において、富士未来学で身に付ける3つの力の到達度をレーダーチャートにより分析していない。		
挑戦力	自己改善	主体的に学習に取り組む態度	3の記述	3において、レーダーチャートを分析した結果から、①で到達度を高めるために必要なことを、②でどのように実践していくかを記述している。	3において、レーダーチャートを分析した結果から、①で到達度を高めるために必要なことを記述しているが、②でどのように実践していくかを記述していない。	3において、レーダーチャートを分析した結果から、①で到達度を高めるために必要なことを記述していない。		

課題研究の進捗について報告します。2月の発表会に向けて、自分の課題研究の見直しを行う機会になります。

1 富士未来学で身に付ける3つの力

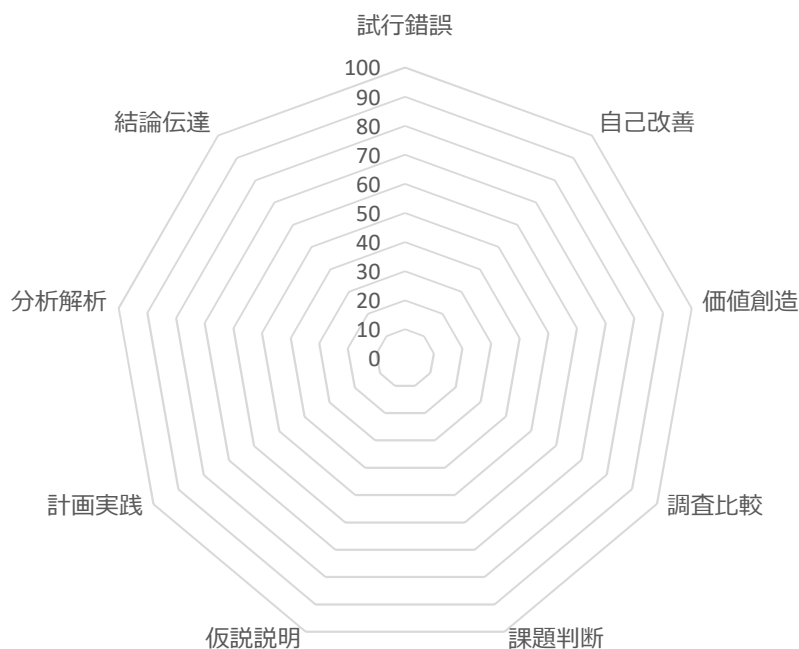
表1 本研究開発で育成する3つの力の観点と分類

	力の観点	力の観点の分類
挑戦力	試行錯誤	解決策が見いだされていない未知の課題に対して解決方法を吟味して、前向きに何度でも粘り強くやり直そうとする力
	自己改善	粘り強く試行錯誤する中で、失敗から改善策を考え、より良い方法で実践するための自己調整をしようとする力
	価値創造	課題の発見、課題の解決、自己調整を繰り返す中で、既存の価値に代わる新たな価値創出の可能性を見だし、新たな価値を創造し続けようとする力
理数的発見力	調査比較	挑戦力を働かせて、知的好奇心に基づいて調査し、これまでの経験や知識とも照らし合わせながら、疑問をもったことから課題を見いだす力
	課題判断	発見した課題に対して、科学的に解決できる課題であることを理科や数学の見方・考え方を働かせて判断する力
	仮説説明	発見した課題から仮説を設定し、科学的に検証できることを説明する力
理数的解決力	計画実践	挑戦力を働かせて、設定した仮説を検証するための計画を立案し、計画を見直ししながら実践する力
	分析解析	多面的にデータを収集し、信頼性のある適切なデータを抽出し、検定等の統計的な手法を用いて分析し、解析する力
	結論伝達	データの解析から、数値に基づいた根拠を裏付けにして解釈し、自ら考えた結論を他の人が納得するように説明する力



2 到達度をレーダーチャートで分析

富士未来学Ⅴの課題研究における現在の到達度を、レーダーチャートで分析します。それぞれの観点の到達度を点●で表しましょう。まだ到達していない観点については、到達度の目標を点◎で表しましょう。隣り合う点を線で結び、レーダーチャートを完成させましょう。



①特に高い到達度にした点●の項目について、自分の研究経過との関連にふれながら、
そのような到達度にした理由を述べましょう。

②特に低い到達度にした点●の項目について、自分の研究経過との関連にふれながら、
そのような到達度にした理由を述べましょう。



3 到達度を高めるために必要なこと

レーダーチャートで分析した結果から、さらに到達度を高めるために必要なことを考えます。

①到達度を高めるために必要だと考えたことを、自分の研究と関連させて、具体的に記述

しましょう。

②①で考えたことをどのように実践していくかについて、記述しましょう。

4 ルーブリックによる自己評価

育成したい資質・能力	学習の意欲・態度	評価の観点	評価の対象	高度に達成されている	達成されている	一部に課題あり	自己評価	教員による評価
				A	B	C		
挑戦力	自己改善	主体的に学習に取り組む態度	2の記述	2において、富士未来学で身に付ける3つの力の到達度をレーダーチャートにより分析し、①と②についてそれぞれ記述している。	2において、富士未来学で身に付ける3つの力の到達度をレーダーチャートにより分析しているが、①と②の記述に不備がある。	2において、富士未来学で身に付ける3つの力の到達度をレーダーチャートにより分析していない。		
挑戦力	自己改善	主体的に学習に取り組む態度	3の記述	3において、レーダーチャートを分析した結果から、①で到達度を高めるために必要なことを、②でどのように実践していくかを記述している。	3において、レーダーチャートを分析した結果から、①で到達度を高めるために必要なことを記述しているが、②でどのように実践していくかを記述していない。	3において、レーダーチャートを分析した結果から、①で到達度を高めるために必要なことを記述していない。		

引用文献

- (1) 東京都立富士高等学校・東京都立富士高等学校附属中学校（2021）『令和3年度スーパーサイエンスハイスクール研究開発実施計画書【開発型・実践型】』